

# ぎふかれん

No.65 2020年7月発行

発行 NPO 法人 岐阜県精神保健福祉会連合会

☎500-8385 岐阜市下奈良 2-2-1 岐阜県福祉・農業会館 3階

TEL/FAX 058-271-8169 HP <https://gifu-karen.jimdo.com/>



## 理事長あいさつ

理事長 服部 信子

みなさん、お変わりありませんか。このたび、理事長に就任しました服部信子です。

今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、3密を避ける日々が続きます。家族会の例会なども中止で、不安な日々を送ってみえる当事者・家族も多いと考えます。生活のリズムを崩さないようにしたいです。

「知ってもらいたい心の病」などの研修会も、変更を余儀なくされています。今年の研修会は少人数でも、参加した会員が満足できる会にしたいと思っています。

昨年は「概略版」でしたが、今年度は、「ぎふかれんのあゆみ」の発行を予定しています。1974年（昭和49年）「ぎふかれん」が設立され、その前後に地域家族会が誕生しました。精神障がい者の尊厳と権利を守る活動がまとめられたら、幸いです。出来るだけ正確な記載に努めます。

電話相談事業は2006年に開始しましたが、前理事長（山田偉雄）などの粘り強い交渉で、2017年（平成29年）から県の委託事業になり、財政的に安定してきました。会員のみなさんも、困りごとなどありましたら、お気軽に電話下さい。

会員のみなさんの意見を聞き、繋がる「ぎふかれん」で在りたいと思っています。今年は、研修会の日程変更などでご迷惑をかけると思いますが、よろしく願います。

## ぎふかれん新体制

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| ●理事長 服部信子（岐阜市あけぼの会）     | ●理事 児玉 進（岐阜市あけぼの会）    |
| ●副理事長 野々時雄（いぶき会・大垣市）    | ●理事 石田吉保（岐阜市あけぼの会）    |
| ●副理事長 久保敏雄（かけはし西岐阜）     | ●理事 井上俊子（たんぼぼの会・各務原市） |
| ●副理事長 田中利正（中濃わかば会・関市）   | ●理事 安藤勝子（いこい会・池田町）    |
| ●副理事長 江崎道春（東濃さつき会・多治見市） | ●理事 久保田正司（ハウス希望・養老町）  |
| ●副理事長 大下恵子（青葉の会・高山市）    | ●理事 谷口昇三（郡上つくしの会）     |
| ●理事 柘植昭和（東濃やまなみ会・中津川市）  | ●監事 高見正春（岐阜あけぼの会）     |
| ●理事 熊谷久子（岐阜市あけぼの会）      | ●監事 川島愉美（中濃わかば会）      |



この機関紙は、岐阜県共同募金会のご寄付で作成いたしました

## 前理事長あいさつ

顧問 山田 偉雄

この度理事長を私事にて引退しました。この紙面を借りて、4年間のお礼とお詫び及び思いを述べさせていただきます。4年前、中村理事長の後任に白羽の矢がたちました。誰も引き受けてくれる人はなく、一期を目途に引き受けました。交代時の事務局の財政状況は収入が少なく逼迫した状況でした。事務員の石山さんも辞任、代わりの方が必要でしたが、予算がない。久保田副理事長との話し合いで、ボランティア（前田さん）を週1日派遣頂くこととなりました。新しく着任した服部副理事長は、戸惑ったことと思いますが他の理事の方の協力を得ながら、二人三脚で何とか船出いたしました。任期の大半、事務局運営を徹底した緊縮財政で行いました。2年後に前田さんの引退で、困りましたが、幸いにも筒井・恩田さんがボランティアで助けてくれるようになりました。感謝しています。前任の中村さん時代と比べ、事務局への出入りの協力者は多くなり、活気があります。この間、県からの「電話相談」の委託事業を平成29年から受け、また、物品斡旋も筒井さんの努力等で、資金繰りも何とかなる程度になりました。健全な「ぎふかれん」の運営には、事務・会計担当の雇用が必要。また、少なくとも役員の出費が出る組織でなければとの思いでした。それが、次の理事長に残したい私の念願でした。新年度からは、事業拡大の予算増額が認められました。事務局運営の目途がつき、服部新理事長に引き継いだことを幸いです。

残念なことは、「ぎふかれん」の一部地域家族会の脱会・解散です。原因は、家族会の指導者不足です。家族会への魅力が薄らいでいるのかも知れません。精神障がい者の問題が解決した訳ではなく、諸問題が山積し、「電話相談」でも多くの家族が問題を抱えている実態が明らかです。また、伝統ある県大会を行わないとしたこと。これに代わり、地域家族会・「ぎふかれん」の今後を多くの方たちと話し合えるような行事の企画を頂きたいと思えます。

今後の「ぎふかれん」の発展に向け、新執行部のご活躍を祈念致します。私も協力しますが、会員の皆さんと共に「ぎふかれん」を盛り上げてまいりましょう。

## 新理事のあいさつ

### ●田中 利正 氏（わかば会 会長）

理事をやれる自信はありませんが、会員諸氏に迷惑をかけないように努めたいと思います。ご指導・ご鞭撻をお願いします。月に一度くらいは、ぎふかれんに行けるようにしたいです。大変苦手なパソコンを勉強しなくてはと思っています。

### ●熊谷 久子 氏（岐阜市あけぼの会 会長）

はじめましての方、お久しぶりの方、「岐阜市あけぼの会」会長に就任させていただきました熊谷久子（くまがい ひさこ）と申します。（69歳）

家族会歴は永い（長男が統合失調症と診断されて20年）のですが、自分の仕事の傍らほんの少ししか活動には携わってきませんでしたので、これから勉強したいと思います。よろしくお願いたします。

## 講演会のご案内

### 『第36回知ってもらいたい心の病』講演会

日時：令和2年9月26日（土） 13：30～16：00

場所：セラトピア土岐 3F 大会議室

土岐市土岐津町高山4 TEL 0572-54-2120

演題：「精神疾患の診断と対応～統合失調症・発達障害～」

講師：深尾 琢（ふかお たく）医師

（岐阜大学医学部附属病院 精神科医）

### 『第37回知ってもらいたい心の病』講演会

日時：令和2年10月3日（土） 13：30～16：00

場所：瑞穂市総合センター 2F あじさいホール

岐阜県瑞穂市別府1283 TEL 058-327-7588

演題：「障がいと共に生きる

～持続可能な社会に向けて～」

講師：神山 忠（こうやま ただし）氏

（教員・発達障害当事者・元自衛官）

### 『岐阜県精神保健福祉研修会』

日時：令和3年1月頃

場所：美濃加茂市（予定）

講師：（検討中）

マスク着用・家での検温など、ご協力お願いいたします。

\* 新型コロナウイルス拡大状況によっては、変更になるかも分かりません。よろしく申し上げます。

## お知らせ

- 令和2年度 甲州・東海ブロック精神保健福祉促進研修会 静岡大会（令和2年11月5・6日）は、令和3年11月に延期されました。（1年延期）
- 第13回 みんなねっと宮崎大会（令和2年11月12・13日）は、中止になりました。

# 令和2年度 岐阜県精神保健福祉会連合会総会 報告

## 平成31年度事業報告

### 「家族による家族のための電話相談」継続事業

毎週 火曜日・木曜日（祝祭日休み）AM10:00～PM3:00

岐阜県精神保健福祉会連合会事務局 相談件数 206件（平成31年度）

電話相談チラシを病院・作業所・保健センター・図書館などに配布。

メール相談は10件。面接相談を9月1日から開始した。

### 「精神保健福祉啓発事業」

#### \*第34回「知ってもらいたい心の病」講演会（参加者131名）

日時：令和元年7月14日（日）13:30～16:00

場所：大野町総合町民センター

講師：河村 眞志 氏（臨床心理士・河村心理相談室）

演題：「精神障がい者の障害とは？関わり方とその理解について」

#### \*第35回「知ってもらいたい心の病」講演会（参加者40名）

日時：令和元年10月6日（日）13:30～16:00

場所：美濃市中央公民館3F展示室

講師：池谷 尚剛 教授（岐阜大学教育学部 特別支援教育講座 教育学博士）

演題：「障がい者差別解消法と学齢期における特別支援教育について

～家族支援の視点から～

#### \*岐阜県精神保健福祉研修会（参加者102名）

日時：令和2年2月1日（土）13:30～16:00

場所：メディアコスモス みんなのホール

講師：青木 聖久 教授（日本福祉大学・福祉経営学部 みんなねっと理事）

演題：「精神障がい者が地域でいきいき暮らせるために～誰もが自らの人生の主人公～」

#### \*『第12回全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと愛知大会』（刈谷）

日時：令和元年11月7日（木）・8日（金）

場所：愛知県刈谷市総合文化センター・刈谷市産業振興センター

大会テーマ：「だれもが幸せと感じられる社会を！」

##### ●基調講演「社会で暮らす当事者のために精神医学は何かできるのか

：妊娠出産から自動車運転まで」

講師：尾崎 紀夫 教授（名古屋大学大学院医学系研究科）

##### ●記念講演「ベルギーにおける地域移行について」

講師：バナード・イエイコブ 氏（ベルギー保健省・精神保健改革コーディネーター）

参加者：延べ1,800名 「ぎふかれん」から45名 岐阜県（支援者含む）59名

（令和元年度甲州・東海ブロック精神保健福祉促進研修会は、全国大会を兼ねた。）

## 平成31年度決算報告

収入		支出	
円		円	
会費	319,000	事業費	1,222,379
(家族会費)	289,000	(ブロック大会)	0
(賛助会費)	30,000	(講演会など)	361,539
		(機関紙の発行)	105,489
		(他団体交流)	80,000
		(電話相談)	675,351
助成金等	1,970,200	管理費	1,684,893
(県委託金)*	1,000,000	(事務所費)	245,967
(共同募金)	545,000	(給料等)	270,725
(助成金)※	425,200	(通信・運搬費)	72,010
		(機器等購入)	783,540
		(その他)	312,651
寄付金	600,000	次年度繰越金	748,547
利息	3	合計	3,655,819
前年度繰越金	766,616		
合計	3,655,819		

※ 助成金 : 岐阜新聞・中日新聞・保健福祉協会・イオンなどから。

\* 県委託金: 精神保健福祉啓発事業 35 万円、電話相談事業 65 万円

物品斡旋事業 多くの皆様にご協力いただき有難うございました。

### 「精神科医療に関する」アンケート集計結果

厚生労働省が、都道府県を通じ、毎年 6 月 30 日時点の全国の精神科医療機関の実態を把握する「精神保健福祉資料」を「630 調査」と云います。昨年 4 月に岐阜県に 630 調査結果を開示請求したところ、「黒塗りの状態なら」という回答でした。それでは、実状がわからないということで、「ぎふかれん」の家族会員にご協力いただき昨年 6 月～7 月に「精神科医療に関する」アンケートを実施いたしました。ご協力者は 127 名です。たいへん沢山のご意見をいただきましたので、県の医療福祉課へ参考資料として提出したいと思います。集計は複数回答のものもあります。

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

#### ① 回答者 127 名

・当事者 47 名 ・父親 21 名 ・母親 57 名 ・兄弟 2 名 ・子供 2 名 ・配偶者 2 名

#### ② 主な診断名 (重複あり)

◎統合失調症 99 名 ◎双極性障害 12 名 ◎うつ病 14 名 ◎強迫性障害 3 名 ◎不安障害 4 名

◎摂食障害 2 名 ◎発達障害 4 名

◎自閉症・感情障害・パニック障害・パーソナリティ障害・境界性パーソナリティ障害 各 1 名

◎その他（知的障害・認知症・くも膜下出血）各1名

③ 受診している病院・クリニック（36カ所省略）

④ 診療時間 ・7割の人が5～10分 ・長い時で10～20分 ・最長90分

⑤ 転院 2/3の84名が転院の体験あり

・1回19名 ・2回15名 ・3回31名 ・4回9名 ・5回5名 ・6回2名 ・10回以上3名

⑥ 過去受けた診療でよかった点

- ・自分の状況把握・治療目標がわかり、不安が減少したカウンセリングだった。
- ・入院時親切に相談に乗ってくれた。話を聞いてくれたり説明も丁寧であった。
- ・普段の診察は短いですが、話がある時は聞いてもらえる。親の話も聞いてもらった。

⑦ 過去診療で悪かった点

- ・急性の陽性症状が出て病院に行ったら無理やり入院させられた。鎮静剤等の応急処置で対処できたと思う。入院中の処遇がひどかった。
- ・先ず家族で相談事を決めて、3分で終わる事。
- ・親の話は短時間しか聞いてもらえない。

⑧ 入院経験の有無

無	24名		
有	97名	入院期間	
入院回数 1回	31名	10日～3ヶ月未満	33名
2回	19名	3ヶ月～6ヶ月未満	37名
3回	12名	6ヶ月～1年未満	34名
4～7回	20名	1年～5年未満	14名
8～10回	4名	5年～20年未満	1名
10回以上	5名	20年～30年	3名
不明	4名		

⑨入院の種類

措置入院	39名
強制入院	33名
任意入院	65名

⑩ 拘束体験の有無

有	35名
無	63名
不明	9名
(2011～2018年)	9名

⑪ 隔離室の体験

はい	60名
いいえ	42名
不明	4名

⑫ 入院中の家族の入室の可否

はい	65名
いいえ	36名
不明	10名

⑬ 入院中の面会の可否

はい	102名
いいえ	4名
不明	1名

⑭ 電気ショック療法の経験

はい	6名
いいえ	108名
不明	2名

⑮ 認知行動療法の経験

はい	9名
いいえ	118名

⑯ 薬の種類

1種類	7名	5種類	13名	注射（月1回）	1名
2種類	21名	6～8種類	21名	なし	1名
3種類	25名	10～12種類	7名	不明	14名
4種類	19名	18種類	1名		

⑰ その他ご意見

- ・一人の人間として生きていくために、ある程度の所得を得られるように何とかならないか。結婚も望めない。
- ・隔離や拘束は本人にとって一生忘れられない傷となり、精神科入院を拒む原因となっています。親にとっても辛い経験になります。医師は十分に患者とコンタクトを取り、いい関係を作り上げて同じ人間としてお互いに心の安らげる治療をして頂けることを願っています。

## 青葉の会 会長 大下 恵子

高山市の精神保健福祉家族会「青葉の会」は、精神疾患という病気に向き合うための学びや、お互いの励まし合い、そして地域への啓発、福祉向上を図ること等を目的として、今から30年余り前の昭和60年に発足しました。しかし、発足当時の受け止め方は精神疾患イコール精神分裂病（現在は統合失調症と改名）とされ、地域社会で理解されることは難しく、偏見と差別の中で家族も当事者も苦しみ悩むばかりでした。病院と保健所を頼みとしながら、戸惑いながらの歩みでした。特に当事者の働く場や抛り所となる場所となると、当時の社会状況では殆ど不可能に近い感じでした。

しかし、そんな中、軽い作業ができる場所にと家族会の一人の方が家を提供して下さり、念願の作業所が立ち上げられました。さらに平成に入って間もなく、高山市のご理解とご支援により市所有の建物を無償貸与していただき、職員も配置され、家族会が運営母体となって本格的な精神障がい者の福祉作業所「青葉の家」が設立されました。こうした場が出来たことにより多くの方が利用されるようになり、それに伴って家族会員も増え、「青葉の会」そのものも次第に活性化し、プラカードを掲げて「私たちにも福祉の恩恵（サービス）を！」と署名活動をし、格差是正を訴えたことも有りました。また、啓発活動として「知ってもらいたい心の病」講演会を飛騨圏域の各地で開き、当事者や家族の生の声や思いを聞いていただき、少しずつ精神疾患や家族会の活動に対する市民の皆様方の理解も広がり、受け止めていただけるようになって行ったのです。

そして、漸く平成18年、精神障がい者の自立に向けた大きな一歩として「障がい者自立支援法」が制定され、精神疾患が障がいとして認められ、精神保健福祉手帳による福祉サービスが可能になりました。障がいをそれぞれの個性として受け止め、互いの違いを認め合い、助け合っていく社会を構築して行くことが、当事者や家族の生きる力になるのだと思います。

青葉の家作業所は現在、NPO法人ウェルコミュニティー飛騨「青空作業所」として運営されていて、家族会の相談役としても支えていただいています。以前と較べれば、地域社会のサービス等も相当充実してきたとはいえ、家族会も高齢化が進んでいますので、親亡き後を考える時、なお生きやすく安心して暮らせる社会が築かれることを願ってやまない次第です。



平成30年度 甲州・東海ブロック  
精神保健福祉促進研修会 高山大会  
平成30年11月9日・10日  
高山市民文化会館にて開催  
参加者延べ400名

「青葉の会」の皆さんが  
頑張ってくださいました。

## 月刊「みんなねっと」の購読を！

全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)は精神障がい者の家族会の全国組織です。  
国の障がい者福祉・医療の施策制定に委員として参画しています。

年間 3,600 円(賛助会員 会費に購読料含む)

発行者 公益財団法人 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)

TEL 03-6907-9211 FAX 03-3987-5466

ご希望の方は連絡してください。

### 家族による家族のための電話相談

同じ悩みを持つ家族だからこそ  
共感できます！

相談日：火曜日・木曜日・金曜日（10：00～  
15：00）面接相談も行っております。

TEL：058-271-8169（祝祭日休み）

携帯：090-6587-9838（精神保健福祉士）

HP <https://gifu-karen.jimdo.com/>



### 会員(家族会員)・賛助会員及びボランティア募集

家族会員は各地区の家族会として、それぞれ募集致しております。

岐阜県精神保健福祉会連合会(ぎふかれん)では、各家族会を会員とした NPO 法人として、家族会のネットワークにより、地域精神医療・福祉の向上を目指しています。

是非、会員や賛助会員になっていただき、ご援助お願いします。

会員:1,000 円/年 賛助会員:個人 1 口 1,000 円 団体:10,000 円

郵便振替口座:00890-9-123784 口座名:岐阜精保福連

### あゆみ(令和 2 年度発行予定)に掲載する広告募集

サイズ・金額・様式等詳細は事務局までお問い合わせください。

#### 【 編 集 後 記 】

「ぎふかれん」65号をお届けすることが出来ました。原稿ありがとうございました。

今後も努力してまいりますので、会員の皆様応援よろしく申し上げます。

編集担当者一同